







第六章 飼育法 (8) 鶏  
鶏を孵化させるには母鶏に抱かして孵化するのと孵卵器にて成すものとある、其時季は六月から十一月迄の間が適して居り難が能く育ち卵も多く産む、然しひランゴにする目的に飼ふには孵卵器にて年中何時でも絶え間なく孵化出来る。  
母鶏は充分に巣につき居る孵化の代用として餘り小さくな

前號報道の植物界の神様とも謂はれしルーサー・バー・バンク翁が逝いて其の跡何人が繼ぐかは一時問題であつたが近頃「日本」の報する處に據れば同じ加州のフレヌ市生れであるワキリアム・エツチ・ヘンダーソンと云ふ今年僅か二十一歳の無名の青年が翁の遺志に依り其の迹を継ぐことなつたさうである、彼は幼少の時から園藝に趣味を持ち、殊にバーバンク翁の傳記、事業、著述に憧憬の念を深うしたので門下に趨て教へを請ひたるが如るやうな熱望を一封の書簡に託してサンタ・ローラーに送つたが彼と同一志望を抱く千五百人の物を愛する天稟と喫煙飲酒などのは五年前布市ハイスクールの二年生のときであつた彼が植物を愛する天稟と喫煙飲酒などを有せぬ勤勉力行などが、翁に認められ、翁は窃にその将来に矚目してゐただが今回弱冠の身をもつて世界的のになつた次第である、彼が孤兎の聲を擧げたオレンジ大蔵の生家の庭に彼が曾てバー・バンク園より取よせて試植し實驗の如きが若主人の名譽を誇る苺苗などが、若主人の名譽を誇る苺苗などが、若主人の名譽を誇る苺のやうに生育繁茂してゐる

# **FABRICA DE PLANTADORES NAKAI & FILHOS**

中井工場  
製造販賣品目  
N印播種器  
犁造物噴霧器  
殺鑄各種器  
木工機械工  
鐵工機械工  
業作業品  
何品に依らず  
御注文に應ず  
R. S. Paulo, 502, Caixa, 486 Catanduva

R. S. Paulo, 502, Caixa, 486 Catanduva

旅館 成功館  
カノトベツ 古謝將義  
Largo 7 de Setembro, 15  
Tel. Central, 2008 Santos

農家便覽第拾壹號  
一、玉蜀黍の栽培  
右便覽一般當業者へ無料にて配付すべくに付き希望の方は封筒面に農家便覽の件と記載し住所を明記の上當館へ申込まれ度し在サンパウロ帝國總領事館

及刻上販賣  
雜穀類委託販賣

America Hotel  
Proprietarios  
Narquez & Cubelas  
日本人諸君歡迎  
設備完全、取扱叮囑  
金拾五ミルレース  
Telephone, 208  
Rua Schneider, Feijó

電車拾七番舊終點附近  
電 車 拾 七 番 舊 終 點 附 近

無名の一青年が  
バー・バンク翁を

の上手なものを使ひ解化用の巣の如きものを使用する、それのがは三十三センチ角の高さ十五セン一部を格子を以て仕切り雑が自

櫻せんべいの  
移轉擴張

南聖殖民地

大備し、地味肥沃、水利の便、氣候溫暖にして、健康に好適、地權の廉價なること、既に拾數回廣告したれば諸産の熟知せらるゝ處、而も私共は利益主義の土地賣でなく、當国民地帶のシヨキヤ線中又々なき絶好の場所なるが故に特に御勧めする事も御承知のこととて有りませう、現に附近在留借地者は貳百家族

教育問題は又た最も重要な問題でサントスジユキヤ間を以て、アツベ町に通する自動車道を工事中で、此自働車道は確実地を通過する豫定にして日下ペイルビーリよりアンドニアデアグアラントアレ車はサントアレ車であります。クリン等間貳時間半であります。

◎殖民地の特長

當殖民地の特長は第一に二大市場に近く農業として最も確実なる復農式を極度迄發達させしめ得る事にして、米作を第一、ソシ、バタ、カントナ、コムラ、果樹、養豚等安全有利なる農業を營み得る點である。

りしが故一定の學校に於て一定の教育を受けるを得ざりし憾みがありました、そこで私共は此大切な教育を完全ならしむる爲め當殖民地内に學校を建設することも考慮中であります。

赤嶺新野學  
Santo Antônio de Juquia  
Linha Santos-Juquia



# 内案(地民殖聖南)地有富大の惠天

土地は何アラケーレスで  
も賣ります。アルケーレスで  
日から本年六月廿五日迄半額で  
の間に申込みの方にはアルケーレル貳百七拾ミルレースで、  
レースで、本年六月貳拾五日迄に半額で  
権を受取り残り半額は來年六月廿五日迄に支拂ふので有ります、即ち金拂込者は直ちに地権を受取  
り一割の割引が有ります。

一、地價及  
拂入法

を超え是等の人々は續當殖民地の土地を購ひ獨立から獨立に替へりあるは、如何に其有なるかを雄辯に物語つてゐるではありませんか？

二、位置及  
置は地圖に示す如  
地は何アルケト  
賣ります。四月廿  
から本年六月廿  
間中に申込みの方  
ルケトル貳百七  
レスで、本年六月  
迄に半金を入金し  
を受取り残り  
六月貳拾五日迄に  
の有ります。即ち  
者は直ちに地權が  
割の割引が有り  
一割の割引が有り  
ウタアリヨ、オ  
ヤ、ジャアラン  
の優良を示すマ  
インで有ります。

通文  
三  
百八キロメートル、  
自働車道開鑿  
既に七キロメートル  
有し殘部目下工事中







第一回 大石内蔵之助 半井桃水

「連夜廻りを致しては、なか  
體もつゞくまい。今夜は休  
ましてつかはす程に、ゆつくり  
と寝るが好いぞ」

「外の者も皆な續いて、夜廻り  
を致すので、容易に代つてはく  
れませぬ」

「身共<sup>しの</sup>が代つてつかはすのちや  
は、まづの方夜廻りの支度を、  
そつくり身共借用致す」

仲間は驚いて、

「此の様な汚い衣服が、旦那様  
方に召されませうか」

「汚くとも苦しうない、して此  
の外に夜廻りの支度はないか」

「雨の降ります時は、赤合羽<sup>あかあわ</sup>  
鎧頭笠<sup>よろいとうがさ</sup>を被ります」

「何うやら今宵も降りさうぢや  
合羽や笠も借用致さう、したが  
此の事明朝まで、誰にも話して  
は構成らぬぞ」

「畏まりまして御座ります」

『尙承<sup>じょうしよう</sup>はつて置きたい事は、  
外の仲間どもが見た化者ぢや、  
矢張り其の方と同じやうに申し  
て居るか』

『イヤ／＼左様では御座りませ  
ぬ、一人は角の生た虎に、追驅  
けられて腰を脱かし、今一人は  
大入道<sup>だいのく</sup>で出會つたと申します』

『誰も怪我<sup>いたずら</sup>はなかつたのか』

『逃げ出す機会木<sup>きあいもく</sup>の枝で、面の  
皮をかき裂いた者や、腰を脱か  
して倒れます時、腰骨打つた者  
は御座りますが化者に噛付かれ  
て怪我した者は御座りませぬ』

『ハ、ハ、唯おどして見る  
ばかりぢやの』

『左様おつしやは、マアそん  
なもので御座りますが、現在化  
者を見ましては、腰脱かさずに  
居られませぬ』と身を震はして  
語るのである。

『もう夫<sup>あ</sup>で好い、其方<sup>その</sup>ごとに酒  
代をつかはす、今夜は快く酒で  
は誰が行會ましても、旦那様と

も飲んで、ゆつくりと寝るが好  
い』と金子何程<sup>なんじょう</sup>か包んで渡せば  
『今夜の夜廻り、お免<sup>めん</sup>し下され  
ました上、お酒まで戴きまして  
は、餘まり有り難過ぎますやう  
で、然らばその制限までに、身共  
へ遠慮に及ばぬ取つて置け』

『左様なら戴きます』

『夜廻りの始まる時刻は  
亥刻から先で御座ります』

番小屋へ参る間、合羽に笠も揃  
て置け

夕刻から雨どなつた、今宵非  
番の岡右衛門<sup>おかうゑもん</sup>は、退出と見せ掛  
けて、城内に留り、亥刻の鐘を  
聞くや否や番小家へ立越した、  
妻の仲間は相番<sup>あいばん</sup>と酒酌交はし  
つゝ、岡右衛門を待受て居る。  
『今宵は身共一人で、夜廻りの  
役を勤める。其方<sup>その</sup>もは寝たい  
時勝手次第に寝て好いぞ』

夜廻りには御禁制<sup>ごきんせい</sup>の御酒を下  
されましたが、私共<sup>わたくし</sup>も元氣  
づき、今夜なら大入道でも、提  
灯首でも、びくともする事ぢや  
ア御座りませぬ』

『ハ、ア、では夜廻を讓らうか  
の』

『そ、そ、それには及びませぬ』

『それ支度致さう、約束通り衣  
服を借りるぞ』

仲間は素裸<sup>すらぎ</sup>になつて、着衣か  
ら帶を渡す。岡右衛門はその儘  
で居りましても、寒い事は御座  
りませぬ』

『身共<sup>しの</sup>が着用<sup>きよ</sup>を貸して取らせる、  
ふたか一赤合羽<sup>あかあわ</sup>に鎧頭笠<sup>よろいとうがさ</sup>、左手に提灯  
を借り、其方<sup>その</sup>がへは所持致さぬか』

『お酒を頂きましたから、素裸<sup>すらぎ</sup>  
で居りましても、寒い事は御座  
持つた姿を、二人の仲間はしげ

は氣きが付つさせぬぬ』  
『然ぜんらばそろそろく出掛でかけると致いたす』  
と岡右衛門おうゑもんは笑わらひながら、雨あめを打ういて番ばん小屋こやを出でた。